

世界の港湾ニュース (2004.10.27)

1. IAPH 会長、副会長会議

IAPH 会長・副会長会議がニュ - ヨ - クで 9 月 15 日開催されました。
要点は以下の通りです。

*第 24 回上海総会

- 上海総会開催通知 (第 2 版) を承認。10 月発送の予定
- Working Sessions 講演者を決定
- 次期開催予定のヒュ - ストン港が “ヒュ - ストンの夕べ” を開催

*IAPH50 周年記念事業

2005 年に IAPH は創設 50 周年を迎えるにあたり、以下のような記念事業を実施する

- 記念行事を東京、上海、ロサンゼルスで開催
- テヘラン、ロンドンおよびアフリカの地域会員会議にあわせ記念イベントを開催
- 上海総会、地域会員会議のイベントに名誉会員を招待
- 社会貢献として、NGO “Save the Children” に寄付

*2004/2005 年度 IAPH 論文コンテスト

論文テーマは、「港湾の質を高めるための行動計画」

今回は先進港からも応募できます。奮ってご応募下さい。締め切り日:12 月 31 日

* IAPH50 周年記念ロゴ

正式なロゴが決まりました。



2. 7 月 1 日以降の問題 - 海運業界が IMO に意見書を提出

バルチック国際海運評議会 (BIMCO)、 国際海運会議所 (ICS)、 国際乾貨物船主協会 (INTERCARGO)、 国際独立タンカ - 船主協会 (INTERTANKO) など、海運界を代表する団体が IMO に対し、改正 SOLAS と ISPS コ - ドの導入後に起きた問題について意見書を提出しました。意見書は、港湾保安の概念、アクセス規制、クル - の乗り換えなど、船社が直面する諸問題を挙げています。

IAPH では、来る 11 月 4-5 日、マレ - シアのペナンで開催する、港湾の安全・環境・海事オペレ - ション (PSEMO) 委員会でこの問題を討議することになっています。

海運界の意見書に関し、ISPS コ - ド実施経験と合わせ、会員各位のご意見をお知らせ下さい。

3. 国連環境計画の報告書 港湾開発の主要な原則

国連環境計画 (UNEP) が港湾開発の主要な原則について、IAPH、 IADC、 CEDA と共同で報告書を作成しました。IAPH ではヨ - ロッパ事務所の van der Kluit 氏と van de Laar 氏が作成に関わっています。

港湾開発が与える経済的、社会的な影響を、港湾の必要性について理解し、認識してもらうことにより、和らげようという骨子です。報告書は、以下のアドレスから入手できます。

<http://www.gpa.unep.org>

UNEP は、報告書をより良いものにすべく、IAPH 会員からの意見を求めています。詳細は IAPH ヨ - ロッパ事務所 van der Kluit 氏までお問い合わせください。

pvdkluit@msr-r.nl

4. 国際会議の報告

IAPH 欧州事務所代表 Van der Kluit 氏から、以下 3 つの国際会議について報告がありました。

(1) “ 港湾受け入れ施設フォーラム ” Intertanko 主催

このフォーラムは、船社および IMO、EU を代表する港湾で構成され、3 回目になります。船から出る廃棄物の処理の問題について、加盟国からの IMO への報告では否定されているものの、現実には適切な受け入れ施設がないと船社側では問題にしており、フォーラムの参加機関が共同で IMO に提言しています。提言の中には、廃棄物処理に関する事前連絡のフォーマットの標準化も含まれています。

EU 海事安全局(EMSA)は現在の廃棄物管理指針を修正し、新しいモデル指針を策定する予定です。IMO も、廃棄物受け入れ施設のオンラインデータベースの更新にとりかかっています。

また、ISO でも食料屑の処理に関する標準を開発中であるむね報告されました。

本件は IAPH メンバーにとって今後十分注意して監視していく必要があります。

(2) 船社・港湾産業間連携グループ

この会議は、IMO に対する共同の働きかけが必要かどうかの意見交換のため、年 2 回開催されているものです。繫留索およびそれに関連する索切れの問題が再び取り上げられています。

セキュリティ問題は勿論重要なテーマです。ICS が会員から情報を集めたところ、ISPS コードの実施により予想外の問題が発生することがわかりました。例えば、上陸を認められた乗組員と不認可の乗組員に関し、港で救命ボートの作動テストをする際に問題が出てくることわかりました。船名を読むために埠頭に降りただけで“ 不法入国 ”により逮捕されることがあり得るのです。これらの問題点は 12 月に開催される IMO の海事安全委員会 (MSC) に提出されます。この問題は、IMO/MSC の 79 回セッションに、海運産業から合同で提出されているので、それを参照下さい。

IAPH では 11 月にマレーシアのペナンで開催される PSEMO 委員会で議論し、12 月の IMO/MSC の 79 回セッションに意見書を提出することになっています。

(3) IMO 海事安全委員会(MSC)/危険物貨物、有形貨物およびコンテナ小委員会

この小委員会では、ICHCA と IAPH が合同で提出した、“ 危険物を運搬するコンテナの検査方法 ” について討議し、賛同を得て、12 月開催の IMO の海事安全委員会 (MSC) に提出することになりました。

この小委員会では、他にも 2 項目が取り上げられました。一つ目は“ 危険物の港における安全な輸送・取扱および貯蔵 ” の改訂です。前回作成時は ICHCA と IAPH も一緒に作業に加わりましたが、今回は理由はわかりませんが、両者とも呼ばれていません。まだ時間があるので、IAPH の意見を出していくことは可能です。IAPH では 11 月ペナンで討議することになっています。

もう一つは、バラ貨物の積み卸しに関するガイダンスです。最終案が固まれば、IAPH のウェブサイト掲載すべきだと思われます。(本件は、Mike Compton 氏が“ P & H ”誌 11 月号に寄稿していますので、詳細はそれをご覧ください。)

5. 来年 1 月、常任理事会と IAPH50 周年フォーラムが日本で開催されます

IAPH 常任理事会(EXCO)が横浜で 2005 年 1 月 10-13 日の間開催されます。

また、1 月 14 日には東京で IAPH50 周年記念フォーラムが開催されます。

1月11日には、アジア太平洋経済協力委員会(APEC)とIAPH合同のセミナー「アジア地域におけるコンテナ輸送」が常任理事会の専門委員会と並行して開催されます。

奮ってご参加ください。いずれも参加は無料です。

詳しくは <http://www.iaphworldports.org/EX2005YT.pdf> をクリックしてください。

6. Ports & Harbors”誌 10月号掲載オ - プンフォ - ラム論文の概要

欧州港湾、環境保全への取り組みに積極的な対応 - エコポートプロジェクト

Dr. Christopher Wooldridge

欧州港湾機構(ESPO)は10年間以上にわたり、環境への義務と責任について明確な態度をしめしてきました。環境に関する法制化の動きが活発化するにつれ、港湾が自発的に規制をして、高い環境レベルを達成するのに協力するようになってきました。

エコポートネットワークによる協力は、自発的な自己規制を通して持続的な発展を目指す具体的な手段や方法を生み出しています。

7. 技術委員会の開催

来る11月4-5日、マレ - シアのペナンで以下の委員会が開催されます。委員以外の参加も受け付けております。なお、各委員会の詳細については、IAPHのホームページ(英文)の会員限定ページに掲載されています。 <http://www.iaphworldports.org> をクリックしてください。

* 港湾の安全・環境・海事オペレーション - 港湾保安評価について討論

委員長:Mr. Fer van de Laar (Amsterdam Port Authority)

* 浚渫問題委員会 - 船舶からの廃棄物と浚渫問題

委員長:Dr. Geraldine Knatz (Port of Long Beach)

* 船舶動向委員会

委員長:Dato Capt. Haji Abdul RAHIM Abd. Aziz (Penang Port Commission)

9. IAPH Struijs 会長、2004年の海事保安博覧会で表彰

海事保安博覧会が9月14日ニュー - ヨ - クで開催され、世界の海事保安への貢献が認められIAPHのStruijs会長(Rotterdam港)が表彰を受けました。また、井上事務総長も招待され、IAPHを紹介する講演をしています。

10. 2005年度版IAPH会員名簿デ - タ回答のお願い

会員名簿更新のため、最新デ - タの提出をお願いしています。

未回答の会員は、早急にご回答くださるようお願いいたします。

記入用紙をご希望の方は、IAPHホームページからダウンロードできます。

正会員アドレス：<http://www.iaphworldports.org/publications/DY2005-Entry-R.pdf>

賛助会員アドレス：<http://www.iaphworldports.org/publications/DY2005-Entry-A.pdf>

ご質問のある場合は、directory@iaphworldports.org へお問い合わせください。

11. 新入会員(2005年1月1日付け入会)

Transport Education and Training Authority (TETA) 「南アフリカ」(賛助会員)

Private Bag X10016, Randburg 2125, Gauteng, South Africa

Telephone: +27-11-504-9242

Fax: +27-11-781-0200

E-mail: piet@teta26.co.za

Representative: Dr. P.H. Bothma, Chief Executive Officer